

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんセット・飲み口セット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

パッキン

せんや飲み口から取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.7(パッキンの取り付け方)を参考にして、せんやふたに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

食器洗浄機・乾燥機および洗剤の取扱説明書で、使用できる部品の条件(耐熱温度など)や洗浄方法をご確認の上、使用してください。
食器洗乾燥機を使用すると洗剤や水垢の付着により白い斑点・水滴跡が残る場合があります。その場合は放置せず、変色した箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布でふきとってください。熱湯をかけると本体が熱くなりますのでやけどには十分にご注意ください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。 サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんセット・飲み口セットを取りつけない。 本体の内圧が上がり、せんセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 傷・サビなど故障の原因。

お手入れ上の注意

つき

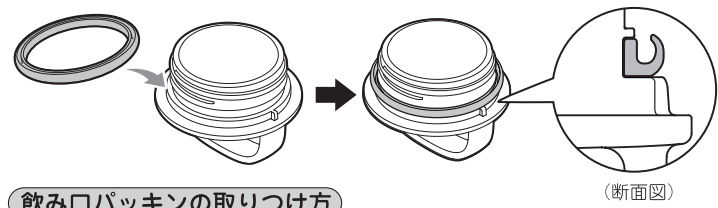
- 本体・せんセット・飲み口セットの煮沸などはしない。 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

パッキンの取り付け方 正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

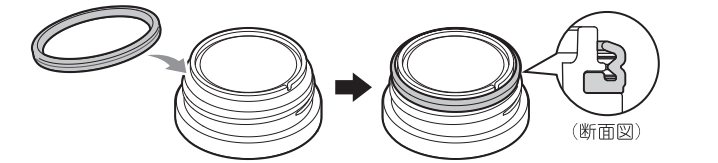
せんパッキンの取り付け方

せんの溝に全周にわたってはめこむ。取りつけた後は、パッキンが浮かないように指でまんぺんなく押す。



飲み口パッキンの取り付け方

飲み口の溝に全周にわたってはめこむ。取りつけた後は、パッキンが浮かないように指でまんぺんなく押す。(上下方向に注意)



※正しく取り付けないと、飲みものがもれる原因となります。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■せん・飲み口からもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	飲み口セットが正しく、しっかり取り付けられていますか。	正しく取りつけてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを規定量まで入れてください。
■保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを規定量まで入れてください。

※せん・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に記載されています。)

- ①ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
AEF型 せんセット(せん、せんパッキン)
AEF型 せんパッキン
AEF型 飲み口セット(飲み口、飲み口パッキン)
AEF型 飲み口パッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら

 0570-094891

06-6453-9489

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589

製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。

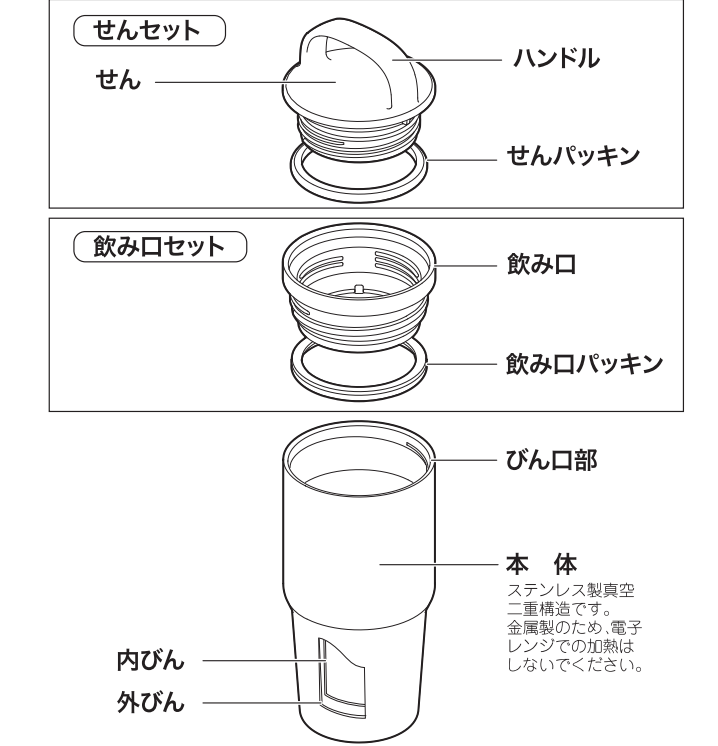
 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock AEF型

スクリューマグタイプ 取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

- 絶対に
入れない
- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
 - みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
 - 牛乳・乳飲料・果汁など
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
 - 果肉・お茶の葉など
もれなど故障の原因。

●乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらには注意する。
やけど・けがなど危険。

●熱い飲みものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

●飲みものは、規定量までにする。 入れすぎるともれ・あふれ・やけどのおそれ。

●ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。 変形・変色の原因。

●倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものがもれる原因。

●飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすく。
帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

●飲みものを入れた状態で長く放置しない。 腐敗・変質の原因。
また内圧が変わりふたがあけにくくなったり、あける時、音が出る場合があります。

●熱い飲みものを入れた直後、本体をふらない。
内圧が急に上がりふたがあけにくくなったり、あける時、音が出る場合があります。

●製品の横置きは避ける。 もれるおそれ。

●熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、
ティーバッグなどを使用する。お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。
これはお茶の成分が変化するためのもので、人体に害はありません。

●熱い飲みものを入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
急に傾けると飲みものが勢よく出て、やけどなどのおそれ。

●熱いやかんをびん口部に触れさせない。
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

●持ち運ぶときは、せんについているハンドルに強い衝撃を与えない。
せんがひらくおそれ。

●せんについているハンドルを持って持ち運ぶときは、せんがゆるむ方向に回転させたり、強い衝撃を与えない。せんがゆるまないように注意する。 せんがゆるんで落下するおそれ。

●せんについているハンドルに金具やひも等をつけ、ぶら下げて使用しない。 せんがゆるんで落下するおそれ。

●かばん等に入れて持ち運ぶときは、せんについているハンドルにものが当たらないようにする。 せんがひらくおそれ。

●大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。
またアイスピックなど先のとがったもので突かない。
傷・変形など故障の原因。

●飲み口セットは必ずしっかり取りつける。せんセットも確実にしめて使用する。 もれ・やけどなどのおそれ。

●バッキンは必ずつけた状態で使用する。
もれ・やけどなどのおそれ。衣服を汚すおそれ。

●かばんなどに入れるときは、本体を縦に置く。
万一のものを防ぐため、必ず縦に置く。

●傾けた状態や顔の近くでせんをあけない。
熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

●パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の故障の原因。

●自動車運転中は使用しない。やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。
運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

●自動車専用の缶ホルダーで使用する場合
①あらかじめ強度を確認してから使用する。
強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。
車内や衣服を汚す原因。
②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。
ウィンドウやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

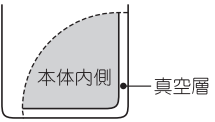
●改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

●冷蔵庫に入れない。 もれなど故障の原因。

●電子レンジでの加熱はしない。 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

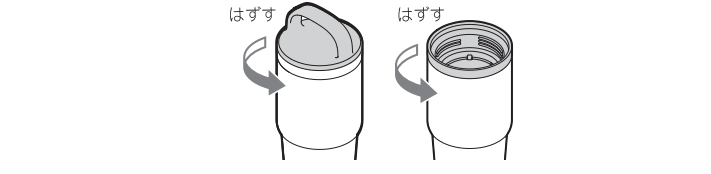
保温(保冷)効果が低下するおそれ。
真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



ご使用方法

はじめてご使用になる前に、本体・せんセット・飲み口セットを洗ってください。

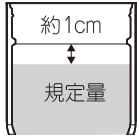
1 本体からせんセット・飲み口セットをはずす
本体からせんセット・飲み口セットを矢印の方向にまわしてはずす。



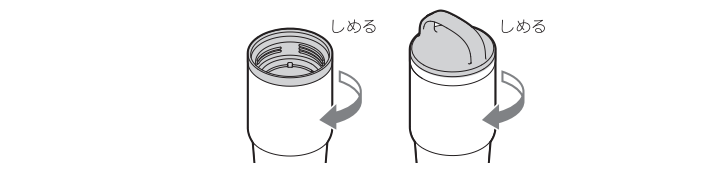
2 飲みものを入れる

※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲みものは図の規定量までにする。
※飲み口セットは必ずはずしてください。
あふれてやけどなどのおそれがあります。

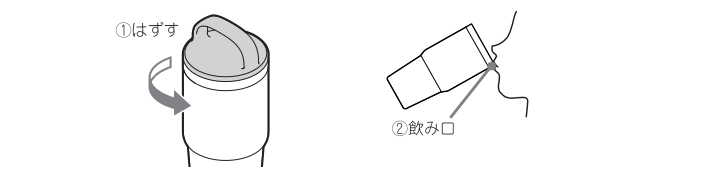
飲みものを入れすぎて飲み口セットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。
入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、飲み口セットをしめてください。



3 飲み口セット・せんセットをしめる
飲み口セット・せんセットを矢印の方向にまわしてしめる。
※飲み口セット・せんセットは確実にしめてください。



4 飲みものを飲む
①本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてはずす。
②飲み口に口をつけてゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
※熱い飲みものを入れた場合は、やけどに注意してゆっくり飲む。
(断熱効果により熱い飲みものを入れても本体外側は熱くなりません)



5 飲み終わったらせんセットをしめる
本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。

